

磁石を使った工作 「パックンワニさん」

★ どんな実験かな？

ワニがエサにとびついて食べるような動きをする、磁石を使った工作です。

これは、磁石の性質を利用しています。

Nと**N**、**S**と**S**は、たがいに反発します。

Nと**S**はひきあいます。

磁石っておもしろいですね。

★ 用意するもの

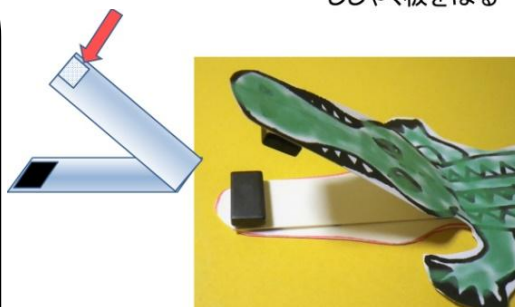
- ① ワニの絵（せなか側とはら側）
- ② 磁石板(牛乳パック 2×13 cm)
- ③ 角形磁石 2こ
(S 極に角形両面テープ)
- ④ 丸形磁石 2こ (N 極にシール)
- ⑤ せんたくバサミ 1こ
- ⑥ セロハンテープ
- ⑦ 角型両面テープ

★ 実験の方法

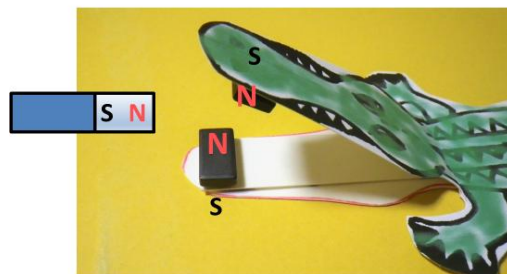
- 1、磁石板の両端に、たがいに反発しあう向きに角形磁石(S 極に角形両面テープ)をはりつけます。
(口の中になります。)
 - 2、丸形磁石2こ(N 極にシール)をせんたくバサミにはさみます。(エサになります)
 - 3、ワニの形を切り取ります。(せなか側とはら側)
 - 4、せなか側とはら側をセロハンテープではりあわせませす。
 - 5、ワニの口の中に、両面テープで磁石板をはりませす。
-
- 6、パックンワニさんをすべりのよいつくえなどの上におき、エサを正面から口のまん中に向けてそーっと近づけます。
 - 7、はじめワニさんは「あとずさり」します。
 - 8、しっぽが何かにあたるとかして、それ以上さがれなくなります。それでもエサを口の中におしこんでいくと、大きな口をあけてエサにかぶりついてきます。どっきりビックリです。

角形両面テープ

口の中に、
じしゃく板をはる



口の正めんからじしゃくを近づけると



★ 注意すること

- ① 磁石をあつかうので、せいみつきかいに近づけないようにしてくださいね。きかいが故障するかもしれませんので。

★パックンワニさんは、浅井武二さん（埼玉県科学教育ボランティア）のオリジナルです。

★ワニさんの絵は、科学とあそびの会が2007年8月24日におこなった、科学あそび「磁石であそぼう」の時に使った絵です。